

第17回 IAEA主催核融合エネルギー会議について

平成10年10月6日
核融合開発室

1. 開催日及び場所

10月19日(月)～10月24日(土)
場所：横浜国際平和会議場「パシフィコ横浜」

2. 開催目的

核融合研究に関する成果報告及び情報交換を行うことを目的として、IAEAの主
催により、1961年から原則2年毎に開催。(前回は1996年にカナダで開催)
なお、我が国での開催は、1974年、1986年に次いで3回目。

3. 参加予定人員

890人が参加予定(うち国外からは、38ヶ国、約460名が参加)
口頭発表 : 115件
ポスター発表 : 257件

4. 会議日程

10月19日(月)

○開会式

・開会挨拶

町 末男 IAEA事務局次長(主催者)
稲葉 大和 科学技術政務次官(ホスト国代表)
吉川 允二 日本原子力研究所理事長(ホスト機関代表)

・特別講演

R. エマール ITER共同中央チーム所長
吉川 弘之 日本学術会議会長

○総合講演

○レセプション

10月20日(火)～10月24日(土)

○総合講演

○個別セッション

核融合技術、実験/加熱電流駆動、慣性核融合、ITER、理論等

○閉会式(24日)

日本人所属別発表件数 : 97件 (81件)

原研	: 31件 (25件)
核融合科学研究所	: 14件 (14件)
大阪大学	: 11件 (11件)
その他	: 41件 (31件)

国別発表件数

日本	: 97件 (61件)
米国	: 89件 (80件)
ロシア	: 26件 (13件)
ドイツ	: 26件 (21件)
中国	: 14件 (6件)
フランス	: 11件 (10件)
イギリス	: 10件 (8件)
イタリア	: 13件 (4件)
スペイン	: 4件 (2件)
スイス	: 4件 (1件)、他

国別参加者

日本	: 430名 (139名)
米国	: 160名 (203名)
ロシア	: 35名 (43名)
欧州	: 180名 (173名)、他

() : 前回 (第16回モントリオール) 実績

外国からの主な参加者

米国

- R. J. ゴールドストン : プリンストン大学プラズマ物理研究所長
D. E. バルドウィン : ジェネラルアトミックス社 (GA) 核融合担当副社長

英国

- M. カイルハッカー : JET 所長

ドイツ

- K. ピンカウ : マックスプランクプラズマ物理研究所長
G. H. ウォルフ : ユーリッヒ研究センター所長

フランス

- J. パメラ : カダラシュ研究所制御核融合研究部長

ロシア

- E. P. ベリコフ : ロシア研究センタークルチャトフ研究所長

インド

- P. K. カウ : プラズマ研究所長

スイス

- F. トロヨン : ローザンヌプラズマ物理研究センター所長